

平成 30 年 6 月 5 日

年長父母各位

認定こども園

國學院大學栃木二杉幼稚園



TEAM EARTH

チームアース No.3



～園外保育 足利フラワーパーク H30. 6月1日(金)～

栃木県足利市堀込町に「早川農園」として1968年に開園。以来「250 畳の大藤」として愛されておりましたが、都市開発の為 1997年に現在の足利市迫間町（はさまちょう）に移設し、「あしかがフラワーパーク」としてオープンしました。



広がり続ける 大藤

園長 塚本こなみさん

日本の女性樹木医第一号
～木のお医者さん～

大藤の引っ越しを手掛けてくれる人がいない中、木の“生命力”を感じた塚本さんが、引き受けて下さいました。毎日、毎日木に語りかけ続けた塚本さん。その塚本さんの気持ちが“大藤”に伝わり、4本全ての藤が芽吹いたそうです。

平成8年に引っ越しが始まり、翌平成9年に、『足利フラワーパーク』として、またこの生命力満ちた巨樹を見ることが出来るようになりました。

現在は『世界一のふじ』といわれ、開園して20年経った今でも、枝を広げつづけているそうです。





～“大藤”を見たお子さん達の声です～
 『すご～い 大きいね(＾O＾)／』
 『大きいから、枝と枝をつなげているの?』
 『根っこみつけた～!』
 木の生命力を感じ、自然界の“みなぎる力”
 をお子さん達なりに感じて欲しいです…



光っていると、
 もっときれい!
 夜の藤も見たいな～



沢山の人が
 「こなみ先生」と一緒に、
 お花を守っているんだね

塚本こなみ 1949年静岡県磐田市出身、現在浜松市在住。
 日本女性樹木医第一号。一級造園施工管理技士。
 1996年に樹齢130年の4本の大藤をあしかがフラワーパークに移植し、一躍有名になる。

2013年4月から、自宅がある、はままつフラワーパーク理事長、浜松市花みどり振興財団理事長を務めるかたわら、全国の樹木の世話をする。



早川農園からの移植作業

「私はみんなにいつも言うのです。大きな公園に行かなくてもいいのです。近くの小川や、低木林でも、小さな木でいいから、自然の中に自分のお気に入りの木『マイ・ツリー』を探して欲しいのです。そして、毎日、その木に話しかけるのです。天気や、その日にあったことなど。木は耳を傾けてくれるはずですよ」。

～バラのお庭とバラの咲く島…～
王子様とお姫様の気分になっちゃった…
(◡◡)(>◡◡)。 ✧♡



お花に
とどかないよ～！！



バラっていいにおい～♪
せっけん？ジュース？
いろんな香りがしたね♡

花菖蒲の舞台・あたり一面菖蒲の花畑(お子さんと同じくらいの背の高さがありました)





塚本先生の著書及び絵本です。

お子さん達と読んできました。



たのしかったね！